

ここ駒通信

kokokoma
information



Autumn
2020

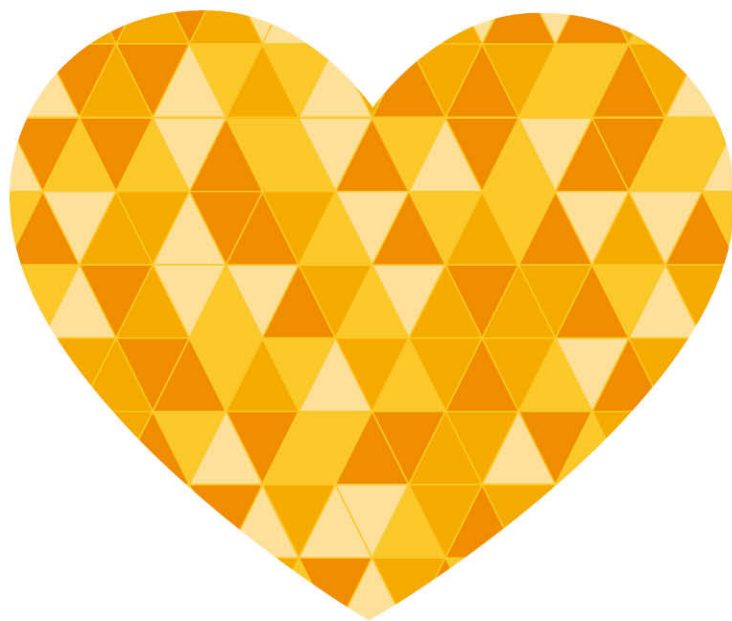
特集

認知症の治療

認知症の症状 具体例

認知症と精神科

ここ駒で出来ること



長野県立こころの医療センター駒ヶ根
Mental Wellness Center-Komagane

4人にひとり? なんのこと?



高齢化社会のいま、昔と比べ平均寿命がのび、年をとれば誰もが認知症になる可能性があります。

認知症予備群の「軽度認知障害」とされる約400万人を合わせると、

高齢者の約4人に1人が認知症、あるいはその予備群ということに。

認知症は誰にとっても起こりうる身近な病気なのです。

認知症って、なに?

「認知症」とは病名ではなく、
記憶や判断をする脳の機能が低下し、
生活に支障をきたす状態のことです。

脳に病変が起きているよ!
老化によるもの忘れとは
ちがうよ



Check List

自分に、家族に、たいせつな人に。
こんなことはありませんか?

- 物忘れが気になるようになった
- 何となく元気がなく興味や関心を示せなくなった
- 今までできていた日常の家事や仕事ができなくなった
- ささいなことで怒ったり不安を抱くなど性格が変わってしまった
- 家においても落ち着かずウロウロするようになった

これらは認知症の
初期症状

気になる症状・
お悩みがあったら、
ここへご相談を!



認知症の症状

具体例



認知症の症状は、中核症状とBPSD(周辺症状)に大きく分けられ、左図のような症状が現れます。



BPSD(周辺症状)には必ず原因があります



BPSDは環境や支援で大きく改善することができます



BPSDは周囲の不適切な対応、人間関係、身体の不調などが原因で現れることが多いです

ご家族・支援者の方へ

認知症の症状が出る構図を知ることは、ケア方法のヒントにもなり、ご家族・支援者の精神的な負担軽減にもつながります。また、患者さん本人との関係が改善されることもあります。患者さん本人になぜそのような症状が起きているのかを理解することが大前提です。

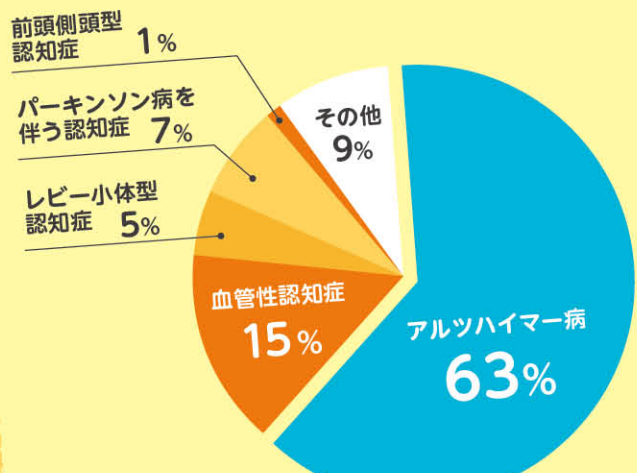
ご家族・支援者の理解があると、患者さん本人が自分らしく生きやすくなります。

認知症の種類

アルツハイマー型 血管性 レビー小体型 前頭側頭型 など

認知症にはさまざまな種類があり、**種類により症状と進行の仕方は異なります。**

原因となる疾患の割合

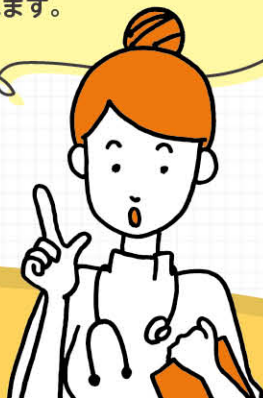


(Wada-Isoe K, et al. Neuroepidemiology. 2009)

認知症の原因となる病気は、多岐にわたります。

- 一番多いのは…**アルツハイマー病**
脳の神経細胞が障害され、脳が委縮する
- 二番目に多いのは…**血管性認知症**
脳の血管がつまったり、破れて出血したりして、神経細胞が障害される

認知症になった人の半数以上がアルツハイマー型認知症といわれます。



認知症と精神科

認知症の症状の内、うつ症状などの精神症状が出る可能性があります。そうなった時、認知症なのかその他の精神疾患なのか、判断がつかない時があります。そういった場合、専門医がうつ病、アルコール疾患などの精神疾患との鑑別診断を行う必要があります。

早期発見し、適切な服薬・対応を行うことで…

症状の進行を遅らせることができる

身体の衰えを予防できる

患者さんご家族や周囲の方がゆとりを持って対応できる

患者さんの**自己決定権を尊重し**、
患者さんの**意思を治療に反映**することができます。
そしてなにより、**患者さんの大切なこれからの人生について考える時間を持つ**ことができるのです。

自分・家族が認知症かもしれない。

家族の様子が以前と違うような…？

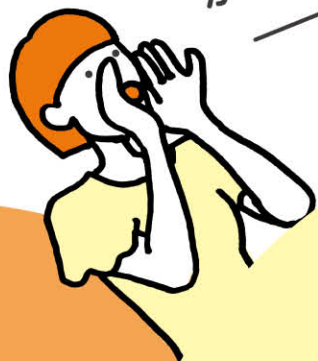
気にはなるけれど、
どうしたらいいのかわからない。

この先どうなっていくの？

何から、どこから始めればいい？



わからない
ままだと
不安が募る
から！



一人で悩まず、抱え込まず、
まずはお話ししてみませんか？

ここ駒に
相談してみよう！

ここ駒では「地域型認知症疾患医療センター」
を開設しています。

認知症疾患医療センターとは、認知症に関する専門相談や
専門医療などの総合的な相談窓口です。

ここ駒で出来ること

地域型認知症疾患医療センターは、
関係各所と連携を取りながら
地域の中で認知症の方やそのご家族に、
適切な専門医療を提供する役割を
担っています。

市町村
地域包括
支援センター

情報提供

かかりつけ医

紹介状

介護保険
事業所など

情報提供

こころの医療センター駒ヶ根
認知症疾患医療センター

センター機能①

専用相談窓口

専門相談員が認知症に関する
さまざまな相談をお受けします。
どなたでも、どんな内容でも
構いません。
お気軽にご相談ください。



お気軽に
お電話
ください

センター機能②

もの忘れ外来

医師、看護師、公認心理師、作業療法士など
の多職種チームによる診療を行っています。
原則として、かかりつけ医から紹介を
いただき、認知症の鑑別診断を行います。
適切な診療治療につなげることで、ご本人
やご家族をサポートします。

専用電話番号 TEL.0265-98-0766

相談受付時間 月～金(祝日除く) 9:30～17:00

入院中の食事

ここ駒では『“こころ”がほぐれる食事』を提供しています

ここ駒では、長野県産食材を使用した、四季折々の食事を提供しています。多彩なメニューの中のほんの一部をご紹介します。

春

春色ゼリー

ここ駒のある駒ヶ根市内でとれたフレッシュなイチゴを使ったゼリーです☆



夏

エビと夏野菜の天ぷら

エビ、なす、ピーマンにお盆ならではの天ぷらまんじゅうも。



秋

おばけサンドイッチ

ハロウィンメニューのひとつ！ミニクワッサンでサンドイッチを作り、チーズと海苔で作った目だまをのせました★



冬

とろろごはん

ここ駒のある南信地域では、1月2日に「すり初め」という、とろろを食べる文化があります。ここ駒でも1月2日の朝食にとろろごはんを出し、南信のお正月文化を感じてもらっています。



CHECK!!

栄養科では、入院生活を心地よく過ごしていただくために、安心・安全はもちろんのこと、おいしく、楽しく、食べやすい食事づくりを心がけています。また、個々に栄養管理計画を作成し、多職種スタッフにより**食欲低下や低栄養、食事摂取が難しい場合などの栄養サポート**を行うとともに、退院後の生活を健やかに送ることができるよう、**実践的な食生活のアドバイス**を行っています。

外来のご案内

診療科 精神科

診療日 月～金曜日

休診日 土・日・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

※但し、救急の場合はこの限りではありません。

外来診療担当医はホームページをご覧ください。

アルコール・薬物依存症外来

断酒・断薬を希望される方の治療や、外来通院でお酒の量を減らすことを目指す方対象のプログラムなどを行っています。

アルコール依存症外来では外来ミーティングを行っています。詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

Q ここ駒 外来ミーティング

子どものこころ診療センター

中学生以下のこころの問題が対象です。

もの忘れ外来

認知症の専門外来です。専門医や公認心理師、認定看護師などの多職種チームで診療を行います。(紹介予約制)

患者さん初診予約専用

初診予約専用電話

☎ 0265-83-4156

受付時間 月～金曜日の9:30～17:00

※受付時間外の緊急時は 83-3181 にお電話ください

当センターの受診は予約制です。初診の予約については、患者さんから初診専用電話におかけいただきますようお願いします。

医療機関などからの紹介

初診問合せ(地域連携室)

☎ 0265-83-3181 (代)

☎ 0265-83-6160

受付時間 月～金曜日の8:30～17:00

kokokoma information

地方独立行政法人 長野県立病院機構



長野県立 こころの医療センター駒ヶ根 ～あなたの手の届くところに～

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平 2901

☎ 0265-83-3181(代表) ☎ 0265-83-4158

<http://www.kokokoma-hosp.or.jp> 🔍 **こころ 駒ヶ根**

【発行日】2020年9月

